

いのちに
心をよせて

山口 華楊

Yamaguchi
Karyu



2022
10/8^土-11/23^{水祝}

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は30分前まで)

休館日：月曜日(但し、月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日休館)

観覧料：一般510(400)円/高校・大学生400(320)円/小・中学生200(160)円 ()内は20名以上の団体料金
65歳以上の方(要公的証明書)および障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

主催：京都府、京都府立堂本印象美術館(指定管理者：公益財団法人京都文化財団)、京都新聞

助成：一般財団法人地域創造

お問い合わせ：〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 Tel.075-463-0007 <https://insho-domoto.com>

山口華楊《洋犬図》1937年 東京国立近代美術館蔵

京都府立 堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

代表作を通して華楊芸術の魅力にせまる

黒豹 参上!



《黒豹》1954年 個人蔵

山口華楊（八九九―一九八四）は京都市中京区出身で、大正から昭和にかけて京都で活躍した日本画家です。本展では、動物画で独自の画境を確立した華楊の代表作を通して全貌を紹介します。京都画壇の写生の伝統を受け継ぎ、動物画の名手であった師の西村五雲から学んだ瀟洒な感覚と鋭敏な写実性を新たな表現へと発展させました。生きものを慈しむまなざしと高い品格、加えて知的な構成力と静かな空気感は、華楊ならではの魅力と言えるでしょう。

― 堂本印象（八九―一九七五）と華楊は、同じ京都衣笠の地を活動の拠点とし、印象は画塾東丘社を主宰、華楊は五雲亡き後の晨鳥社を研究団体として再興し、戦中・戦後の京都画壇を牽引してきました。ぬくもり溢れる華楊芸術の世界を、印象自らデザインした堂本印象美術館で展覧するというこの機会を是非お楽しみください。



《仔馬》1955年 日本芸術院蔵

仔馬への優しいまなざし

五雲ゆずりの酒脱



《鷹》1939年 個人蔵



《行瀟》1977年 個人蔵

水たまりに一瞬の輝き



《玄花》1979年 高島屋史料館蔵

黒き牡丹

併催展

第3回野外工芸美術作家展

10月8日(土)～11月23日(祝) 場所：美術館庭園 【入場無料】

主催：京都府、京都工芸美術作家協会、京都府立堂本印象美術館

助成：一般財団法人地域創造 後援：京都新聞

ギャラリートーク

10月29日(土)、11月3日(祝)

時間：午後2時～

場所：2階展示室

交通のご案内

JR京都駅より市バス50、JRバス（立命館大学経由）

JR円町駅より市バス15、JRバス（立命館大学経由）

阪急電車烏丸駅より市バス12、52、55

京阪電車三条駅より市バス12、15、51、59

市営地下鉄四条駅より市バス12、52、55

※いずれも「立命館大学前」下車

駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

お車の方は近隣のコインパーキングをご利用ください。



展覧会、関連イベント情報など随時更新

@DOMOTO_Insho

@domoto_insho

京都府立 堂本印象美術館



〒603-8355 京都市北区平野上柳町 26-3 Tel.075-463-0007 https://insho-domoto.com

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合がございます。ご来館前に当館のホームページで最新情報をご確認ください。



樹の精の妖しき

《樹》1963年 京都市立芸術大学芸術資料館蔵